

# お 知 ら せ

件 名	サンル川における魚道試験の結果について（第7報）
-----	--------------------------

## お知らせ内容

9月10日（水）16：00から開始したサンル川における魚道試験について、9月19日8：00～9月22日8：00までの結果を別紙のとおりお知らせします。

また、魚道下流において、サクラマス及び産卵床が多く確認されていることに関して、本日、天塩川魚類生息環境保全に関する専門家会議の眞山委員による現地調査を行いましたので、そのコメントをお知らせします。

※ なお調査結果は、速報値であり、今後、変更があり得ます。

# 調査用魚道 遡上調査結果（第7報）

平成 20 年 9 月 22 日

現在の現地状況

観測時刻	天候	気温	水温	サンル観測所流量 (暫定値)
8:00	晴れ	12.3℃	12.1℃	約1.7m <sup>3</sup> /s

9月10～21日の調査用魚道遡上調査結果	
遡上魚数（大型魚）	
（前回公表までの調査数：速報値）	
9月10日	2尾
9月11日	0尾
9月12日	4尾
9月13日	13尾
9月14日	23尾
9月15日	10尾
9月16日	8尾
9月17日	26尾
9月18日	19尾
小計	105尾
（今回公表の調査数：速報値）	
9月19日	40尾
9月20日	51尾
9月21日	55尾
小計	146尾
累計	251尾
※1日の調査数は、8：00～翌日8：00まで	

その他・特記事項
9/22 眞山委員による魚道下流部の現地調査を行いました。（コメントは別紙のとおり）

9月22日現地調査後の眞山委員のコメント

- 魚道下流約120m（一ノ沢合流点より下流）において、サクラマス等が多く確認されることについて
  - ・ もし魚道が障害となっているのであれば、サケの捕獲施設のように直下に集団で滞留しているはずですが、魚道直下にはほとんど滞留が生じていません。
  - ・ 流れのゆるやかな淵等でサクラマスが一時的にとどまることは一般的です。魚道上流部でも昨日時点において淵にサクラマスが多数確認されており、魚道下流部においてのみ確認しているということではありません。
  - ・ 魚道ではここ数日にわたって一日あたり40～50尾の遡上を確認されており、淵にいるサクラマスも順次遡上しているものと思われます。
  
- 魚道下流部から名寄川合流点までに産卵床が多く確認されていることについて
  - ・ 今回確認された産卵床は従来から確認された場所が大半です。
  - ・ 現在、サンル川では産卵遡上期としては例年になく渇水状態が長期化しており、流量が通常より少ない状態にあるため、サクラマスの遡上行動を誘発しにくい状態にあります。
  - ・ 現在行っている魚道上流部の産卵床調査においても、従来とくらべて本川沿いに非常に多く産卵床が確認される一方、流量の少ない支川では確認数が少なくなっている状況が見られます。

以上のことから、現時点では魚道試験が上記現象の主要因とは考えづらく、今後の流況変化に期待しつつ引き続き下流部の状況に留意しながら調査を行うことが適切と判断します。